



眼位検査では眼が正しい位置にあるかを確認します。



大型弱視鏡を使った斜視検査の様子。小児の患者さまに使用することが多いです。

斜視弱視外来について



TST (Titmus stereo test) テストの様子。近くの距離での立体視(遠近感)を確認します。

当院では、週1回(毎週木曜日の午後)、斜視弱視外来を設けております。斜視とは、1つの眼が正しい目標物を見ているのに対し、もう一方の眼が目標物とは別のところを見ている状態です。症状としては物が二重に見える複視現象が生じます。治療法は特殊なプリズムレンズを使用した方法や手術を検討します。弱視とは、眼鏡などで矯正をしても視力が向上しない目の状態をいいます。視力の成長過程にあるお子さまの場合、適切な時期に適切な治療を受けることで視力の向上が望める場合があります。早期発見、早期治療が非常に大切です。

川侯さんのある日のスケジュール

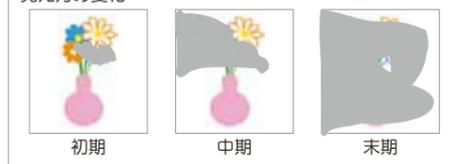


8:00	出勤、準備
8:30	午前外来 視力検査、眼圧検査、 眼底撮影、白内障術前検査など
12:30	休憩
13:30	午後外来 斜視弱視検査、視野検査など
17:30	退勤

※緑内障とは…

目から入ってきた情報を脳に伝達する視神経という器官に障害が起こり、視野(見える範囲)が狭くなる病気のことで、治療が遅れると失明に至ることもあります。

見え方の変化



マイ★スターに一問一答!



かわまた ゆか 川侯 友佳 さん

Q. この職種を目指したきっかけは何ですか?
A. 大好きな祖母が緑内障※を患い、病に対する不安や辛さをよく耳にするようになりました。私自身、眼科を受診したことがなく、眼に対しての不自覚を感じたことはありませんでした。色々調べるうちに祖母のように眼の病気で苦しむ人がたくさんいることを知り、そして「祖母のように苦しむ人に関わり、何か力になりたい」とい

う気持ち芽生えたのがきっかけでした。
Q. 趣味は何ですか?
A. 旅行、買い物、食べることなどいろいろありますが、特にダンスで人を楽しませることが大好きです。
Q. 気分転換したいときはどうしていますか?
A. 友達と出かけたり犬と散歩したりします。
Q. 今後の目標・意気込みをどうぞ!
A. 不安を抱える患者さまの力になり、信頼される視能訓練士になりたいです。尊敬する先輩方の背中を追って、日々前進できるように全力で頑張ります。

シリーズ第3回 視能訓練課

Group photo

今回は、視能訓練士として眼科外来に勤務する川侯さんにお話をうかがいました!



●●職員紹介●●

塚原 伸行 中山 恵美子 川侯 友佳 斎藤 啓太



視能訓練士とは?

はじめに、「視能訓練士って何?」「どんな仕事をしている人なの?」といった疑問を持たれる方がいらっしゃると思います。視能訓練士とは昭和46年に制定された「視能訓練士法」という法律に基づく国家資格をもった医療技術者です。

当院には現在4名の視能訓練士がおり、1階の眼科外来にて勤務しております。

当院での役割は?

私たち視能訓練士は、当院の医療技術部の一員として、眼科医師や看護師、他科との連携をとりながら患者さまの眼の健康を守るために日々努力しております。

眼科での仕事は?

医師の指示のもと、視力検査、眼圧検査といった一般的な眼科検査を行っています。眼科検査には視力、眼圧の他にも視野、屈折、調節、色覚、光覚、眼位、眼球運動、瞳孔、涙液など様々な内容の検査があり、的確なデータを提供して診療をサポートしています。

また、斜視や弱視など視機能に障害をもつ患者さまに対して専門性を要する検査や訓練治療なども行っています。



笑顔のマイ★スター



いつも元気に笑顔で働くミツを教えてもらって、笑顔の「匠」の素顔に迫るコーナーです。ここでは、日々の業務や職種についても詳しくご紹介いたします。